

曲山庸平（くじやま ゆうへい） 教育學者。明治二年（一八七九年）一月八日生。江戸出身。高知縣内各地の小學校教員、校長を務め、更に大阪市に在職十五年。昭和十九年渡支、天津の教育行政顧問となつた。『曲山式』等著述法。著書。

著書『傳教社概論』（昭和六年四月十九日講文閣・光華社）、『油山庸平著作集』、『カント研究』（昭和六年十一月）、『講文閣・光華社』、『油山庸平著作集』）等。